

令和 2 年度予算編成方針

令和 2 年度予算編成に向けて

摂津市長 森山 一正

「財政健全化」、「夢づくり」、「人づくり」。

これは、私が市政運営の柱に据えてきたことである。市長就任以来、決してぶれることなく、この3つを念頭に置き、議員各位、市民の理解を得ながら、市政運営の舵取りを行ってきた。その結果、職員のたゆまぬ努力にも支えられ、「財政健全化」、「夢づくり」、「人づくり」それぞれにおいて、これまで一定の成果を挙げる事ができた。

しかしながら、これまでの成果をもって、「財政健全化」、「夢づくり」、「人づくり」が完結したわけではない。さらに、令和という新しい時代の幕開けを迎え、社会情勢は、これから大きく変化していくことが想定される。この局面を乗り切るためにも、「財政健全化」、「夢づくり」、「人づくり」に引き続き取り組んでいかなければならない。

また、人口減少、少子高齢化の対処が、全国的な課題となっているが、政府は、「経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）2019」で、人口減少、少子高齢化の進行する中で直面する様々な課題克服のための施策を掲げている。これらは、国の施策だけに限られるものではなく地方自治体に関連する施策も含まれている。「地方創生の推進」や「経済・財政一体改革の推進等」に関する施策は、地方自治体に関連するものであり、これにそって、各地方自治体が様々な取り組みを進めることと思われる。他市町村に後れを取ることなく、本市の状況を踏まえた人口減少、少子高齢化対策を行っていかなければならない。

人口減少、少子高齢化への対処は、即効性のあるものは少なく、息の長い取り組みが必要であるこというまでもない。そのため、人口減少、少子高齢化対策という視点も加えて「財政健全化」、「夢づくり」、「人づくり」に取り組んでいくこととし、引き続き「こども」、「健康」、「安全・安心」の3つを令和2年度の予算編成における重点テーマに据え、4期目の総仕上げを行っていく。